

12月の中小企業月次景況調査

〔令和3年12月末現在〕

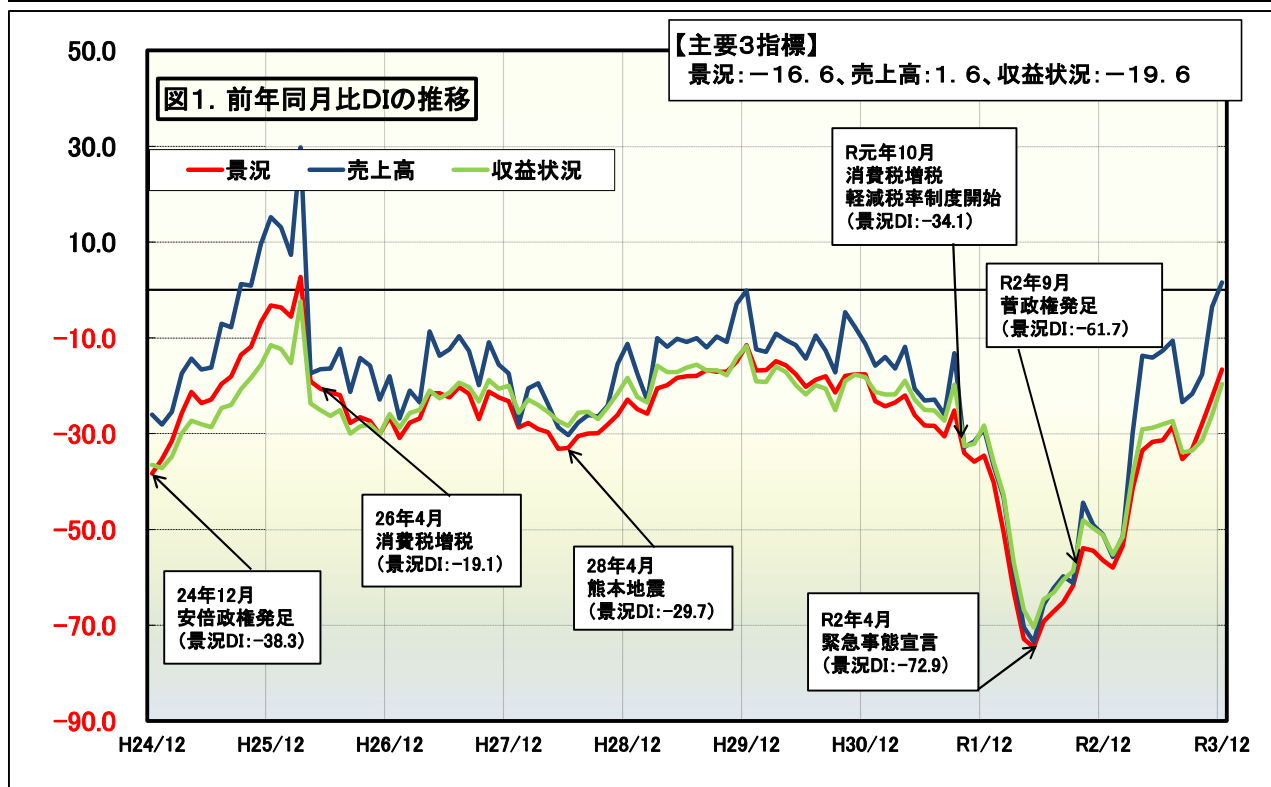


全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

令和4年1月25日発表

◎12月のDIは改善続くも、先行き慎重な見方続く。

- 新型コロナウイルス感染者数の減少により、飲食・宿泊業等の対面サービスを主体とする業種を中心に売上が回復基調にある。一方、製造業を中心とした幅広い業種で、部品不足や原材料価格高騰によるコスト負担の増加は続いており、今後の価格転嫁が課題となっている。
- 新たな変異株の動向が見通せないなか、多くの事業者が先行きの景況感に慎重な見方をしている。経済活動への影響の長期化に伴い、今後の資金繰りや雇用の面で悪影響が懸念される。
- 新型コロナウイルスの感染防止対策が効果を発揮し、早期収束に期待を寄せる声も引き続き多い。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

全国中小企業団体中央会

担当: 政策推進部

TEL 03-3523-4902

<https://www.chuokai.or.jp>

12月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

1. 12月のD Iは、全指標が前月比上昇した。主要3指標は、景況が5.7ポイント上昇、売上高が5.1ポイント上昇、収益状況が6.5ポイント上昇となった。
2. 主要3指標以外では、設備操業度のD Iが0.2とH29年12月以来3年ぶりにプラスに転じた。
3. 新型コロナウイルス感染者数の著しい減少に伴い、飲食・宿泊等の対面サービスを主体とする業種を中心に回復が見られる。一方で第六波の懸念もあり、今後の本格的な景気回復に対しては先行き慎重な声が多く寄せられている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

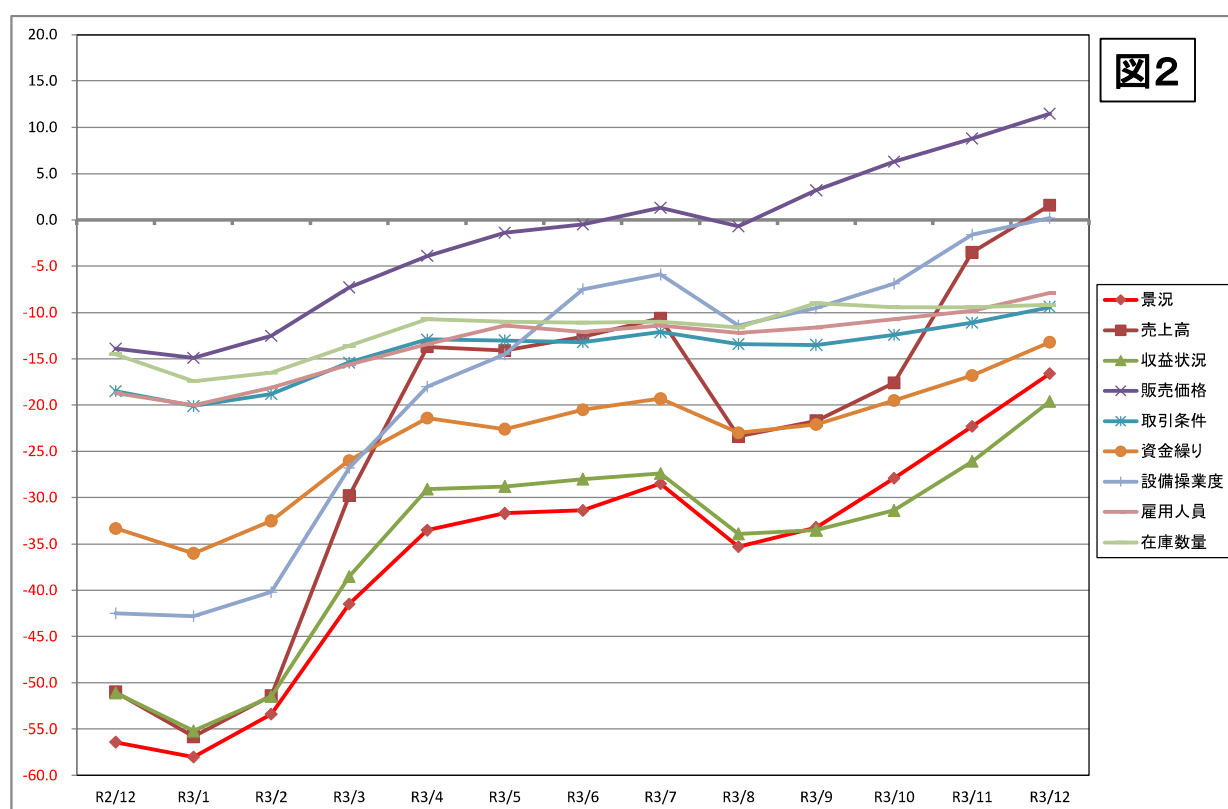


表1	R2 12月	R3 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月比
景況	-56.4	-58.0	-53.4	-41.5	-33.5	-31.7	-31.4	-28.5	-35.3	-33.2	-27.9	-22.3	-16.6	5.7
売上高	-51.0	-55.8	-51.4	-29.8	-13.7	-14.1	-12.6	-10.6	-23.4	-21.7	-17.6	-3.5	1.6	5.1
収益状況	-51.1	-55.2	-51.5	-38.5	-29.1	-28.8	-28.0	-27.4	-33.9	-33.5	-31.4	-26.1	-19.6	6.5
販売価格	-13.9	-14.9	-12.5	-7.3	-3.9	-1.4	-0.5	1.3	-0.7	3.2	6.3	8.8	11.5	2.7
取引条件	-18.5	-20.1	-18.8	-15.4	-12.9	-13.0	-13.2	-12.1	-13.4	-13.5	-12.4	-11.1	-9.4	1.7
資金繰り	-33.3	-36.0	-32.5	-26.0	-21.4	-22.6	-20.5	-19.3	-23.0	-22.1	-19.5	-16.8	-13.2	3.6
設備操業度	-42.5	-42.8	-40.2	-26.8	-18.0	-14.5	-7.5	-5.9	-11.4	-9.5	-6.9	-1.6	0.2	1.8
雇用人員	-18.7	-20.0	-18.1	-15.6	-13.4	-11.4	-12.1	-11.4	-12.2	-11.6	-10.7	-9.8	-7.9	1.9
在庫数量	-14.5	-17.4	-16.5	-13.6	-10.7	-11.0	-11.1	-11.0	-11.6	-9.0	-9.4	-9.4	-9.2	0.2

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 新型コロナウイルス感染者数が減少したことで、年末・正月とも重なり景況感が上向いたという声がある反面、新たな変異株の経済に与える影響が不透明で、今後の回復に慎重な見方をしている声も寄せられた。
2. 原材料価格高騰による収益圧迫、販売価格への転嫁困難、建設業や製造業における外国人労働者等の人手不足、コロナ禍や後継者不在による廃業等に関する報告も引き続き数多く報告されている。
3. コロナ禍を契機としたニューノーマルに向けた前向きな取組み、インボイスに関する事業者の声も継続的に寄せられている。

《主な報告内容》

◇長引くコロナ禍による経営への影響等

- ・外国人技能実習生がコロナ感染防止の渡航制限で入国できないため、組合員によっては製造ラインが極めて細くなり将来的に仕事を受注できなくなることも想定される。(秋田県／繊維工業)
- ・この1年建材価格高騰が続き、現在もその勢いが止まらない。しかし請負価格は横這いであることに加え、職人不足から賃金が上昇し、仕事はあっても経営状況は危機的状況にある。(山梨県／建設業)
- ・前年比やや売上は落ち込んだが、全体としては例年並みであった。高齢による廃業者が増えてきているが、その一方で新規開業者や開業説明会への参加者は減りつつある。(愛知県／軽貨物運送業)
- ・ウッドショックによる資材の値上げ、コンテナ不足による船賃値上げ等により、取引先からの供給商品の値上げ要請が相次ぐが、すぐに売価へ転嫁できない現状がある。(岡山県／家具小売業)
- ・企業から特定技能、特定活動の外国人労働者の紹介を依頼されることが増えてきたにも関わらず、高賃金の都市部の企業への転籍が増えているとともに、帰国するケースも増えてきている。そのため、各企業とも人員の確保に苦慮している。(山口県／一般機械器具製造業)
- ・従業員の高齢化とともに、若年技術労働者の確保が非常に困難となっている。働き方改革もあるため、より一層の効率化が求められる。(宮崎県／建設業)

◇コロナ禍における、ニューノーマル・業態変換(事業再構築)等の取り組み

- ・首都圏大手企業を中心にDX需要が依然高く、製造、流通、金融など幅広い業種から大手システム開発企業経由で道内中小IT企業へシステム開発案件の発注が続いている。(北海道／ソフトウェア業)
- ・地域電器店でもカーボンニュートラルに向けて動き始めており、環境マイスターの資格を持つ組合員が環境に配慮した省エネ家電製品を紹介するだけでなく、SDGsを意識して目標を定めて取り組む店も増えている。(山形県／電気機械器具小売業)
- ・脱プラスチックやSDGsの方向に沿った製品開発への動きとして、印刷関連商品の生産ラインに必要な加工機器やデジタル印刷機に対応した製本機器を導入する企業もある。印刷業は、従来「情報加工産業」と言われてきたが、印刷物に新たな付加価値をつけて、新たな市場の形成に挑戦しようとする試みの一つとである。(石川県／印刷業)
- ・カーボンニュートラルへの対応案件が徐々に出てきている。大手ゼネコンから特殊な案件に対応するように打診があり協力していく方向であるが、費用の負担をどうするか等々、不透明な点も多い。(和歌山県／窯業・土石製品製造業)

◇インボイスにかかる事業者の声

- ・半年ぶりとなる「地域特産めん研究部会」を開催し、インボイス制度についての勉強会をしていただいた。組合員企業の皆様より現況報告もいただいた。(三重県／製麺業)
- ・インボイス制度の導入を踏まえ、建設業の問題として、下請事業者が免税事業者である場合に、元請事業者が消費税を控除できなくなる点がある。「無理やり適格請求書等発行事業者になる事を選択させ、さもないと取引をしない」といった元請け業者の対応も懸念される。そうした事態を回避すべく、下請事業者が自己の意思表示を明確にし、元請業者と協議・合意のうえ合意書を残すことが重要となる。(香川県／建設業)

後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告(要旨)」等も参照。

1. 景 況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 22.3	▲ 16.6	5.7	上昇	↗
製造業	▲ 17.8	▲ 13.6	4.2	上昇	↗
非製造業	▲ 25.8	▲ 18.7	7.1	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	繊維工業、電気機器、サービス業			
	5～10ポイント	食料品、木材・木製品、印刷、鉄鋼・金属、輸送機器、卸売業、商店街、運輸業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	その他の非製造業			
	5～10ポイント	一般機器、その他の製造業			

表2. 業種別【景 況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	2/12	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	前月比
全 体	-56.4	-58.0	-53.4	-41.5	-33.5	-31.7	-31.4	-28.5	-35.3	-33.2	-27.9	-22.3	-16.6	5.7
製 造 業	-60.8	-60.9	-54.7	-41.4	-32.8	-27.9	-23.8	-20.8	-28.1	-26.3	-22.6	-17.8	-13.6	4.2
食 料 品	-55.8	-62.7	-62.0	-39.5	-35.5	-41.0	-40.6	-42.2	-56.9	-47.7	-36.5	-27.8	-17.8	10.0
繊 維 工 業	-84.7	-80.6	-74.4	-69.2	-67.8	-63.0	-55.7	-51.4	-53.0	-49.6	-46.6	-41.2	-30.4	10.8
木 材 ・ 木 製 品	-59.5	-58.4	-46.9	-39.9	-23.9	-15.0	-17.4	-9.0	-7.2	-1.8	4.4	-1.7	3.6	5.3
紙 ・ 紙 加 工 品	-72.7	-79.1	-66.6	-60.9	-32.0	-37.5	-27.3	-43.5	-40.0	-32.0	-21.8	-32.0	-33.3	-1.3
印 刷	-93.5	-91.9	-98.4	-90.0	-75.0	-54.9	-46.7	-42.6	-53.2	-54.9	-48.4	-36.1	-28.3	7.8
化 学 ・ ゴ ム	-51.7	-51.8	-51.7	-41.4	-18.5	-16.7	-13.3	7.4	-21.4	-35.8	-32.2	-32.2	-29.0	3.2
窯 業 ・ 土 石 製 品	-39.3	-43.4	-39.8	-28.6	-27.8	-37.5	-33.6	-35.1	-40.6	-31.8	-35.6	-27.0	-30.2	-3.2
鉄 鋼 ・ 金 属	-62.3	-52.5	-45.2	-29.8	-17.0	1.5	5.1	11.1	9.6	-0.8	1.5	8.1	14.5	6.4
一 般 機 器	-60.5	-53.2	-40.3	-23.7	-8.4	0.9	11.2	17.5	14.7	9.2	5.4	7.4	1.0	-6.4
電 気 機 器	-55.6	-55.6	-25.9	-7.4	-6.9	11.5	7.7	12.0	-11.6	-3.8	-19.3	-15.4	-3.3	12.1
輸 送 機 器	-52.4	-51.1	-38.1	-31.7	-25.7	-15.9	-16.3	-15.0	-30.2	-42.8	-34.9	-28.5	-21.1	7.4
そ の 他 の 製 造 業	-53.0	-71.2	-66.6	-52.0	-44.0	-41.1	-29.4	-27.5	-35.3	-27.5	-17.6	-16.0	-24.0	-8.0
非 製 造 業	-52.9	-55.7	-52.5	-41.5	-34.0	-34.5	-37.1	-34.2	-40.8	-38.5	-32.0	-25.8	-18.7	7.1
卸 売 業	-62.9	-68.5	-57.7	-50.0	-34.6	-32.3	-36.9	-35.3	-42.2	-30.7	-27.3	-24.6	-15.3	9.3
小 売 業	-48.7	-51.1	-51.5	-38.5	-32.8	-35.3	-42.5	-35.4	-46.5	-49.0	-42.5	-35.1	-32.3	2.8
商 店 街	-73.8	-78.2	-75.5	-58.5	-50.6	-55.5	-53.6	-56.6	-69.8	-68.7	-42.6	-25.1	-18.9	6.2
サ ー ビ ス 業	-54.1	-54.1	-49.0	-38.3	-28.4	-29.5	-32.8	-30.3	-41.3	-37.3	-28.9	-20.6	-1.8	18.8
建 設 業	-28.3	-30.9	-30.1	-24.5	-30.9	-29.5	-26.4	-21.7	-17.1	-15.0	-13.3	-17.7	-17.9	-0.2
運 輸 業	-69.2	-72.1	-68.5	-53.1	-33.8	-34.8	-37.4	-39.1	-37.4	-37.7	-43.1	-37.5	-29.4	8.1
そ の 他 の 非 製 造 業	-32.1	-44.8	-46.4	-38.0	-32.2	-18.5	-14.3	-10.3	-17.8	-14.3	-17.3	3.4	-7.2	-10.6

Pick up!

「サービス業」：新型コロナウイルス感染症の沈静化による人流回復により、景況DIは▲1.8と前月比18.8ポイント改善。

「その他の非製造業」：業種・地域によりばらつきはあるが、輸出入業や砂利採取業におけるDI低下等により、景況DIは▲7.2と前月比10.6ポイント低下。

2. 売 上 高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 3.5	1.6	5.1	上昇	↗
製造業	0.1	3.7	3.6	上昇	↗
非製造業	▲ 6.3	0.2	6.5	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	食料品、電気機器、商店街、サービス業			
	5～10ポイント	繊維工業、輸送機器			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	紙・紙加工品、その他の製造業			
	5～10ポイント	なし			

表3. 業種別【売上高】D I の推移（前年同月比）

業 種 名	2/12	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	前月比
全 体	-51.0	-55.8	-51.4	-29.8	-13.7	-14.1	-12.6	-10.6	-23.4	-21.7	-17.6	-3.5	1.6	5.1
製 造 業	-52.9	-58.4	-52.1	-29.8	-17.4	-12.3	-4.1	-2.6	-12.9	-10.9	-10.8	0.1	3.7	3.6
食 料 品	-51.8	-62.7	-59.0	-32.2	-14.0	-17.5	-21.3	-25.5	-51.0	-43.1	-32.5	-8.4	4.1	12.5
繊 維 工 業	-81.4	-78.9	-78.6	-61.6	-57.7	-46.5	-39.0	-31.9	-30.8	-34.0	-33.6	-20.2	-11.6	8.6
木 材 ・ 木 製 品	-56.0	-52.2	-40.0	-16.8	2.6	4.4	19.1	23.2	21.5	27.0	31.0	26.3	22.7	-3.6
紙 ・ 紙 加 工 品	-54.5	-87.5	-54.2	-43.5	-12.0	-25.0	-9.1	-4.4	-8.0	8.0	-13.1	8.0	-8.3	-16.3
印 刷	-87.1	-91.9	-90.2	-71.7	-50.0	-40.3	-19.3	-16.4	-33.8	-19.3	-14.5	-4.9	-1.7	3.2
化 学 ・ ゴ ム	-27.6	-27.6	-38.0	-6.9	0.0	-3.4	-10.0	18.5	-7.1	-17.8	-32.2	-10.7	-6.4	4.3
窯 業 ・ 土 石 製 品	-29.6	-46.4	-41.2	-12.0	-17.5	-18.7	-14.1	-18.0	-39.9	-23.5	-34.1	-17.3	-20.9	-3.6
鉄 鋼 ・ 金 属	-53.6	-56.9	-55.4	-29.0	-9.5	4.4	16.7	22.7	25.2	14.8	11.2	23.7	28.3	4.6
一 般 機 器	-55.0	-49.6	-33.0	-12.8	6.5	14.0	31.8	30.3	25.7	25.0	25.4	17.6	20.2	2.6
電 気 機 器	-29.7	-11.1	-7.4	14.8	13.8	19.2	19.3	40.0	19.3	7.7	-15.4	-7.7	13.3	21.0
輸 送 機 器	-26.2	-34.9	-31.0	-21.9	-17.9	-6.8	-2.3	2.5	0.0	-26.2	-30.2	-26.2	-21.0	5.2
そ の 他 の 製 造 業	-54.9	-71.1	-56.9	-50.0	-44.0	-35.3	-25.5	-27.4	-19.7	-31.4	-15.7	-8.0	-22.0	-14.0
非 製 造 業	-49.6	-53.6	-50.9	-29.9	-10.8	-15.6	-19.0	-16.5	-31.4	-29.7	-22.8	-6.3	0.2	6.5
卸 売 業	-64.8	-63.8	-53.3	-34.6	-7.8	-14.9	-15.2	-14.4	-30.6	-12.7	-18.5	8.8	13.3	4.5
小 売 業	-38.8	-43.1	-49.4	-20.6	-6.0	-18.6	-28.5	-20.2	-41.9	-39.6	-31.9	-13.9	-15.1	-1.2
商 店 街	-74.4	-79.4	-77.3	-45.7	-19.7	-38.4	-34.7	-42.2	-62.9	-62.5	-32.1	-8.0	9.5	17.5
サ ー ビ ス 業	-51.9	-53.1	-49.3	-24.8	0.0	1.4	-11.3	-11.0	-24.2	-31.0	-26.8	-14.1	7.7	21.8
建 設 業	-22.5	-35.8	-27.2	-22.4	-28.4	-26.2	-19.0	-14.9	-15.9	-16.3	-11.7	-7.2	-11.6	-4.4
運 輸 業	-69.2	-66.7	-65.3	-52.3	-7.0	5.3	-2.3	2.3	-18.3	-17.7	-11.5	7.9	12.4	4.5
そ の 他 の 非 製 造 業	-39.3	-58.7	-46.5	-24.2	-17.8	-29.6	0.0	0.0	-7.2	-7.2	0.0	0.0	-3.5	-3.5

Pick up!

「電気機器」：工作機械やロボット関連の売上回復等により、売上高D Iは13.3と前月比21.0ポイント改善。

「紙・紙加工品」：原料・副資材の値上げにより、売上高D Iは▲8.3と前月比16.3ポイント低下。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向
全体	▲ 26.1	▲ 19.6	6.5	上昇 ↗
製造業	▲ 23.2	▲ 18.5	4.7	上昇 ↗
非製造業	▲ 28.3	▲ 20.4	7.9	上昇 ↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	食料品、化学・ゴム、商店街、サービス業、その他の非製造業		
	5～10ポイント	繊維工業、鉄鋼・金属、卸売業、運輸業		
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし		
	5～10ポイント	なし		

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	2/12	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	前月比
全 体	-51.1	-55.2	-51.5	-38.5	-29.1	-28.8	-28.0	-27.4	-33.9	-33.5	-31.4	-28.1	-19.6	6.5
製 造 業	-52.9	-58.8	-52.3	-38.4	-30.8	-27.2	-22.7	-21.7	-26.9	-27.2	-26.9	-23.2	-18.5	4.7
食 料 品	-48.3	-59.3	-55.1	-38.5	-33.5	-33.0	-32.3	-44.3	-54.4	-47.7	-43.9	-34.3	-22.3	12.0
繊 維 工 業	-81.4	-80.6	-77.8	-64.1	-64.4	-58.6	-53.1	-49.6	-52.1	-51.4	-52.6	-45.6	-39.3	6.3
木 材 ・ 木 製 品	-47.4	-56.2	-42.6	-33.7	-14.2	-7.1	-2.7	0.9	2.7	0.9	7.9	6.1	10.0	3.9
紙 ・ 紙 加 工 品	-54.6	-75.0	-54.2	-39.2	-32.0	-41.7	-18.2	-17.4	-20.0	-28.0	-30.5	-16.0	-16.6	-0.6
印 刷	-90.3	-91.9	-93.4	-73.3	-70.3	-51.6	-38.7	-32.8	-41.9	-38.7	-38.7	-27.9	-31.6	-3.7
化 学 ・ ゴ ム	-41.4	-34.5	-34.5	-20.7	-22.2	-13.3	-13.4	7.4	-28.6	-35.7	-42.9	-35.7	-22.6	13.1
窯 業 ・ 土 石 製 品	-29.6	-40.5	-32.3	-21.8	-17.5	-35.2	-31.2	-27.3	-40.6	-27.3	-25.9	-29.3	-29.5	-0.2
鉄 鋼 ・ 金 属	-52.9	-58.4	-54.0	-34.1	-26.4	-13.2	-7.9	-5.9	3.0	-10.4	-10.5	-10.3	-4.6	5.7
一 般 機 器	-56.9	-52.3	-47.7	-31.9	-17.6	-6.6	6.5	3.7	7.3	-2.8	-6.4	-15.8	-11.6	4.2
電 気 機 器	-33.3	-37.0	-18.5	3.7	6.9	0.0	-11.5	4.0	-30.8	-19.2	-46.1	-23.1	-20.0	3.1
輸 送 機 器	-47.7	-39.5	-31.0	-41.4	-20.5	-18.1	-23.2	-17.5	-25.6	-40.5	-46.5	-30.9	-34.2	-3.3
そ の 他 の 製 造 業	-47.1	-69.3	-58.8	-48.1	-38.0	-33.4	-37.3	-25.5	-25.5	-25.5	-15.7	-12.0	-12.0	0.0
非 製 造 業	-49.7	-52.5	-50.9	-38.6	-27.9	-29.9	-31.9	-31.7	-39.2	-38.2	-34.9	-28.3	-20.4	7.9
卸 売 業	-61.0	-60.4	-51.5	-43.3	-24.9	-28.0	-23.2	-26.4	-33.5	-23.0	-25.4	-24.6	-16.7	7.9
小 売 業	-43.9	-47.2	-52.1	-38.2	-32.0	-35.3	-40.9	-36.9	-47.1	-50.8	-43.1	-36.0	-36.0	0.0
商 店 街	-71.9	-74.4	-74.2	-53.0	-40.2	-51.8	-50.0	-53.5	-64.8	-66.8	-47.6	-27.0	-15.1	11.9
サ ー ビ ス 業	-51.3	-53.1	-48.2	-32.7	-18.1	-16.5	-25.3	-22.8	-32.8	-30.9	-29.0	-21.3	0.0	21.3
建 設 業	-26.3	-30.4	-30.6	-25.3	-25.1	-26.6	-25.6	-25.1	-25.5	-21.3	-23.8	-22.4	-22.3	0.1
運 輸 業	-62.3	-68.2	-64.6	-53.1	-31.5	-27.3	-31.3	-34.4	-36.7	-41.6	-46.2	-42.1	-33.3	8.8
そ の 他 の 非 製 造 業	-39.3	-41.4	-35.8	-27.6	-32.1	-25.9	-10.7	-20.7	-39.3	-35.8	-34.5	-31.0	-17.8	13.2

Pick up!

「化学・ゴム」：半導体不足の製造への影響続くものの、自動車関連に改善の傾向が見られる等、改善の傾向にあり、収益状況DIは▲22.6と前月比13.1ポイント改善。

「食料品」：原材料の値上げ等のマイナス要因はあるものの、12月は年末商戦による人流回復等により、収益状況DIは▲22.3と前月比12.0ポイント改善。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 16.8	▲ 13.2	3.6	上昇	↗
製造業	▲ 15.2	▲ 12.3	2.9	上昇	↗
非製造業	▲ 18.0	▲ 13.9	4.1	上昇	↗
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	8.8	11.5	2.7	上昇	↗
製造業	9.2	10.6	1.4	上昇	↗
非製造業	8.4	12.2	3.8	上昇	↗
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 11.1	▲ 9.4	1.7	上昇	↗
製造業	▲ 8.8	▲ 7.2	1.6	上昇	↗
非製造業	▲ 12.9	▲ 11.2	1.7	上昇	↗
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 1.6	0.2	1.8	上昇	↗
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 9.8	▲ 7.9	1.9	上昇	↗
製造業	▲ 9.1	▲ 8.5	0.6	上昇	↗
非製造業	▲ 10.3	▲ 7.6	2.7	上昇	↗
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 9.4	▲ 9.2	0.2	上昇	↗
製造業	▲ 5.3	▲ 5.2	0.1	上昇	↗
非製造業	▲ 15.8	▲ 15.0	0.8	上昇	↗

Calendar 2021

～～ 国内外の主なトピックス（令和4年1月）～～

1月11日（火）	11月の景気動向指数：内閣府。景気的一致指数は3.8ポイント高い93.6と2ヶ月連続で上昇。景気の基調判断は「足踏みを示している」に据え置いた。
1月12日（水）	12月の景気ウォッチャー調査：内閣府。現状判断指数は0.1ポイント高い56.4と4ヶ月連続上昇。基調判断も「景気は持ち直している」と据え置いた。
1月12日（水）	11月の国際収支速報：財務省。経常収支の黒字額は、前年同月比48.2%減の8,973億円となった。経常収支の黒字が前年同月を4ヶ月連続で下回った。
1月13日（木）	12月の工作機械受注額：日本工作機械工業会。速報値は前年同月比40.5%増の1,391億5,200万円で、14ヶ月連続の増加となった。
1月18日（火）	1月の月例経済報告：内閣府。「生産」の項目を上方修正する一方、景気の基調判断を、「このところ持ち直しの動きがみられる」と据え置いた。
1月21日（金）	12月の消費者物価指数：総務省。速報値は前年同月比0.5%上昇の100.0となった。プラスは4ヶ月連続。原油高や円安で電気代やガソリンが上昇した。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和3年12月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇人員	在庫数量
全	-16.6	1.6	-19.6	11.5	-9.4	-13.2	0.2	-7.9	-9.2
製造業	-13.6	3.7	-18.5	10.6	-7.2	-12.3	0.2	-8.5	-5.2
非製造業	-18.7	0.2	-20.4	12.2	-11.2	-13.9		-7.6	-15.0

(製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇人員	在庫数量
食料品	-17.8	4.1	-22.3	8.2	-10.7	-12.7	-2.0	-9.1	-2.1
繊維工業	-30.4	-11.6	-39.3	-5.4	-20.5	-26.8	-12.5	-26.8	-15.2
木材・木製品	3.6	22.7	10.0	47.3	5.4	-4.5	9.1	-1.8	-20.0
紙・紙加工品	-33.3	-8.3	-16.6	-4.1	0.0	-8.3	12.5	-12.5	-16.6
印刷	-28.3	-1.7	-31.6	-5.0	-10.0	-21.7	-10.0	-13.3	-5.0
化学・ゴム	-29.0	-6.4	-22.6	9.7	-12.9	-22.6	-3.2	-16.1	3.3
窯業・土石製品	-30.2	-20.9	-29.5	16.2	-8.5	-17.0	-10.1	-7.8	-0.8
鉄鋼・金属	14.5	28.3	-4.6	17.6	-1.5	1.6	16.8	0.8	4.5
一般機器	1.0	20.2	-11.6	6.8	-2.9	-3.8	13.5	4.8	1.9
電気機器	-3.3	13.3	-20.0	-13.3	-3.3	-10.0	0.0	-3.3	13.3
輸送機器	-21.1	-21.0	-34.2	-13.1	-15.8	-15.8	-18.4	-23.6	-10.5
その他の製造業	-24.0	-22.0	-12.0	10.0	-4.0	-20.0	-4.0	-12.0	-22.0

(非製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇人員	在庫数量
卸売業	-15.3	13.3	-16.7	23.1	-12.3	-8.4		-2.9	-15.3
小売業	-32.3	-15.1	-36.0	25.8	-16.3	-21.5		-7.1	-17.5
商店街	-18.9	9.5	-15.1	-1.9	-14.6	-19.6		-6.3	-9.5
サービス業	-1.8	7.7	0.0	4.4	-3.6	-8.4		-7.0	
建設業	-17.9	-11.6	-22.3	7.7	-10.7	-8.1		-9.4	
運輸業	-29.4	12.4	-33.3	3.8	-11.6	-20.1		-17.8	
その他の非製造業	-7.2	-3.5	-17.8	3.5	0.0	-3.5		3.5	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和 3年 12月 末現在)
(単位: %)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
項 目	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全 体	13.3	56.8	29.9	30.7	40.2	29.1	13.9	52.6	33.5	18.9	73.6	7.4	2.9	84.8	12.3	5.2	76.3	18.4	18.4	63.4	18.2	4.9	82.2	12.8	11.1	68.6	20.3
製 造 業	15.4	55.6	29.0	32.4	38.9	28.7	15.5	50.6	34.0	16.6	77.4	6.0	3.3	86.1	10.5	5.9	75.9	18.2	18.4	63.4	18.2	5.4	80.7	13.9	12.4	70.0	17.6
非 製 造 業	11.8	57.7	30.5	29.5	41.2	29.3	12.7	54.1	33.1	20.7	70.8	8.5	2.5	83.8	13.7	4.7	76.7	18.6	0.0	0.0	0.0	4.5	83.4	12.1	9.2	66.6	24.2

(製造業)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
項 目	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食 料 品	12.7	56.9	30.5	32.0	40.1	27.9	12.2	53.3	34.5	10.7	86.8	2.5	1.0	87.3	11.7	5.1	77.2	17.8	13.7	70.6	15.7	6.1	78.7	15.2	14.7	68.5	16.8
繊 維 工 業	11.6	46.4	42.0	25.0	38.4	36.6	9.8	41.1	49.1	8.9	76.8	14.3	0.9	77.7	21.4	4.5	64.3	31.3	17.9	51.8	30.4	1.8	69.6	28.6	9.8	65.2	25.0
木 材 ・ 木 製 品	20.9	61.8	17.3	40.9	40.9	18.2	29.1	51.8	19.1	50.0	47.3	2.7	10.9	83.6	5.5	10.0	75.5	14.5	18.2	72.7	9.1	5.5	87.3	7.3	14.5	50.9	34.5
紙 ・ 紙 加 工 品	12.5	41.7	45.8	29.2	33.3	37.5	16.7	50.0	33.3	4.2	87.5	8.3	4.2	91.7	4.2	4.2	83.3	12.5	33.3	45.8	20.8	0.0	87.5	12.5	16.7	50.0	33.3
印 刷	10.0	51.7	38.3	30.0	38.3	31.7	11.7	45.0	43.3	1.7	91.7	6.7	3.3	83.3	13.3	3.3	71.7	25.0	16.7	56.7	26.7	1.7	83.3	15.0	5.0	85.0	10.0
化 学 ・ ゴ ム	6.5	58.1	35.5	32.3	29.0	38.7	16.1	45.2	38.7	12.9	83.9	3.2	0.0	87.1	12.9	0.0	77.4	22.6	19.4	58.1	22.6	6.5	71.0	22.6	19.4	64.5	16.1
窯 業 ・ 土 石 製 品	7.8	54.3	38.0	21.7	35.7	42.6	12.4	45.7	41.9	20.9	74.4	4.7	1.6	88.4	10.1	4.7	73.6	21.7	11.6	66.7	21.7	0.0	92.2	7.8	9.3	80.6	10.1
鉄 鋼 ・ 金 属	29.0	56.5	14.5	44.3	39.7	16.0	18.3	58.8	22.9	21.4	74.8	3.8	4.6	89.3	6.1	9.2	83.2	7.6	27.5	61.8	10.7	9.2	82.4	8.4	13.7	77.1	9.2
一 般 機 器	18.3	64.4	17.3	40.4	39.4	20.2	16.3	55.8	27.9	8.7	89.4	1.9	2.9	91.3	5.8	7.7	80.8	11.5	25.0	63.5	11.5	11.5	81.7	6.7	12.5	76.9	10.6
電 気 機 器	30.0	36.7	33.3	40.0	33.3	26.7	23.3	33.3	43.3	10.0	66.7	23.3	6.7	83.3	10.0	10.0	70.0	20.0	26.7	46.7	26.7	10.0	76.7	13.3	30.0	53.3	16.7
輸 送 機 器	10.5	57.9	31.6	23.7	31.6	44.7	7.9	50.0	42.1	5.3	76.3	18.4	5.3	73.7	21.1	0.0	84.2	15.8	10.5	60.5	28.9	5.3	65.8	28.9	7.9	73.7	18.4
その他の製造業	8.0	60.0	32.0	14.0	50.0	36.0	14.0	60.0	28.0	16.0	78.0	6.0	2.0	92.0	6.0	4.0	72.0	24.0	14.0	68.0	18.0	6.0	76.0	18.0	4.0	70.0	26.0

(非製造業)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
項 目	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸 売 業	16.7	51.2	32.0	40.9	31.5	27.6	15.3	52.7	32.0	32.0	59.1	8.9	3.0	81.8	15.3	5.9	79.8	14.3				7.4	82.3	10.3	12.3	60.1	27.6
小 売 業	9.2	49.2	41.5	24.9	35.1	40.0	8.6	46.8	44.6	37.8	50.2	12.0	2.2	79.4	18.5	2.8	72.9	24.3				3.1	86.8	10.2	6.8	68.9	24.3
商 店 街	12.7	55.7	31.6	38.0	33.5	28.5	16.5	51.9	31.6	8.9	80.4	10.8	2.5	80.4	17.1	7.0	66.5	26.6				5.7	82.3	12.0	10.1	70.3	19.6
サ ー ビ ス 業	15.4	67.4	17.2	28.9	49.8	21.2	19.4	61.2	19.4	9.9	84.6	5.5	3.7	89.0	7.3	6.6	78.4	15.0				6.2	80.6	13.2			
建 設 業	7.3	67.5	25.2	17.5	53.4	29.1	6.8	64.1	29.1	15.8	76.1	8.1	2.1	85.0	12.8	1.7	88.5	9.8				2.6	85.5	12.0			
運 輸 業	10.9	48.8	40.3	38.0	36.4	25.6	13.2	40.3	46.5	8.5	86.8	4.7	0.8	86.8	12.4	7.0	65.9	27.1				1.6	79.1	19.4			
その他の非製造業	7.1	78.6	14.3	17.9	60.7	21.4	3.6	75.0	21.4	7.1	89.3	3.6	3.6	92.9	3.6	3.6	89.3	7.1				7.1	89.3	3.6			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

(令和 3年 12月 末現在)

滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、
和歌山県

〔全 国〕

〔近畿地方〕

業 種	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
全 体	13.3	56.8	29.9	30.7	40.2	29.1	1.6	13.9	52.6
製造業	15.4	55.6	29.0	32.4	38.9	28.7	3.7	15.5	50.6
非製造業	11.8	57.7	30.5	29.5	41.2	29.3	0.2	12.7	54.1

業 種	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
全 体	14.5	54.5	31.0	31.0	43.1	25.9	5.1	14.1	52.2
製造業	14.8	57.4	27.9	35.2	37.7	27.0	8.2	14.8	50.8
非製造業	14.3	51.9	33.8	27.1	48.1	24.8	2.3	13.5	53.4

〔北海道・東北地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、
山形県、福島県

業 種	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
全 体	11.9	56.1	32.0	30.7	38.2	31.0	-0.3	14.4	50.8
製造業	14.2	54.9	31.0	27.4	43.4	29.2	-1.8	13.3	51.3
非製造業	10.7	56.8	32.5	32.5	35.4	32.0	0.5	15.0	50.5

業 種	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
全 体	10.5	59.2	30.3	34.5	30.3	35.3	-0.8	12.2	51.3
製造業	15.3	55.9	28.8	36.9	31.5	31.5	5.4	14.4	48.6
非製造業	6.3	62.2	31.5	32.3	29.1	38.6	-6.3	10.2	53.5

〔関東・甲信越地方〕

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、
東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県

業 種	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
全 体	14.0	59.7	26.4	30.0	43.2	26.8	3.2	14.4	53.4
製造業	14.8	59.1	26.1	30.3	44.3	25.4	4.9	16.3	48.9
非製造業	13.4	60.1	26.5	29.8	42.4	27.9	1.9	13.1	56.6

業 種	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
全 体	9.9	52.3	37.8	25.0	43.0	32.0	-7.0	7.0	57.0
製造業	9.0	61.5	29.5	29.5	42.3	28.2	1.3	7.7	64.1
非製造業	10.6	44.7	44.7	21.3	43.6	35.1	-13.8	6.4	51.1

〔東海・北陸地方〕

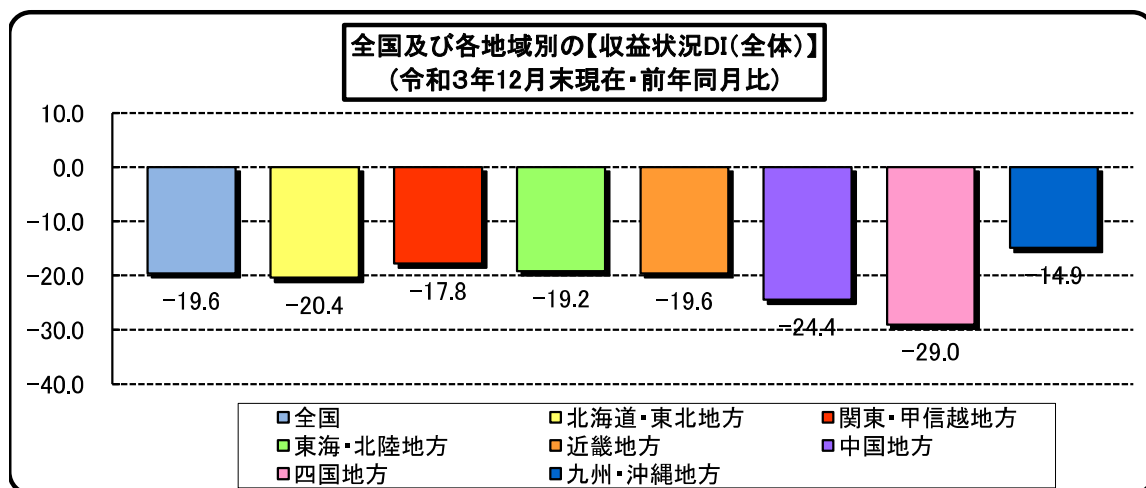
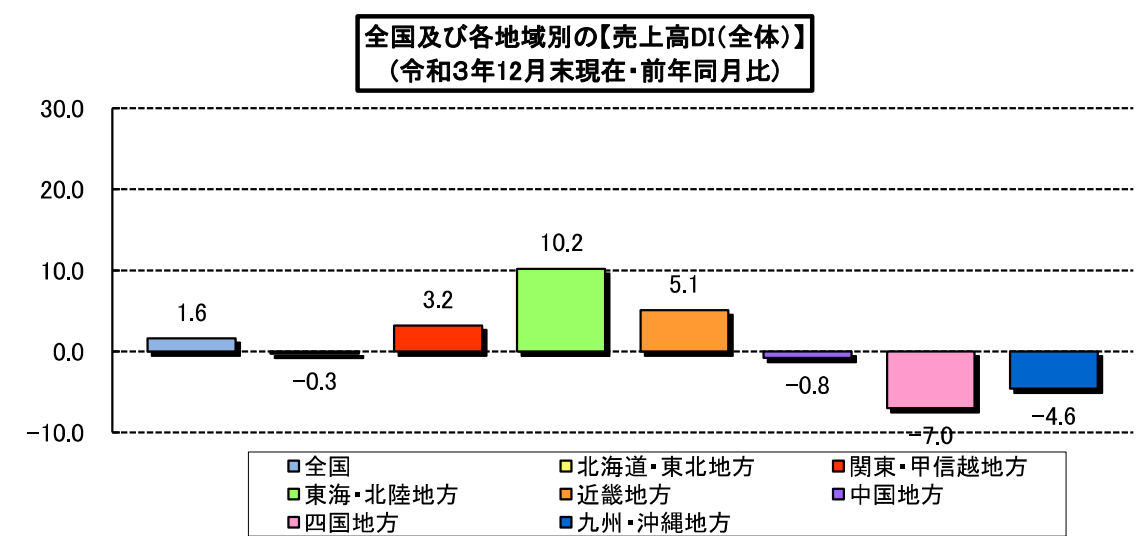
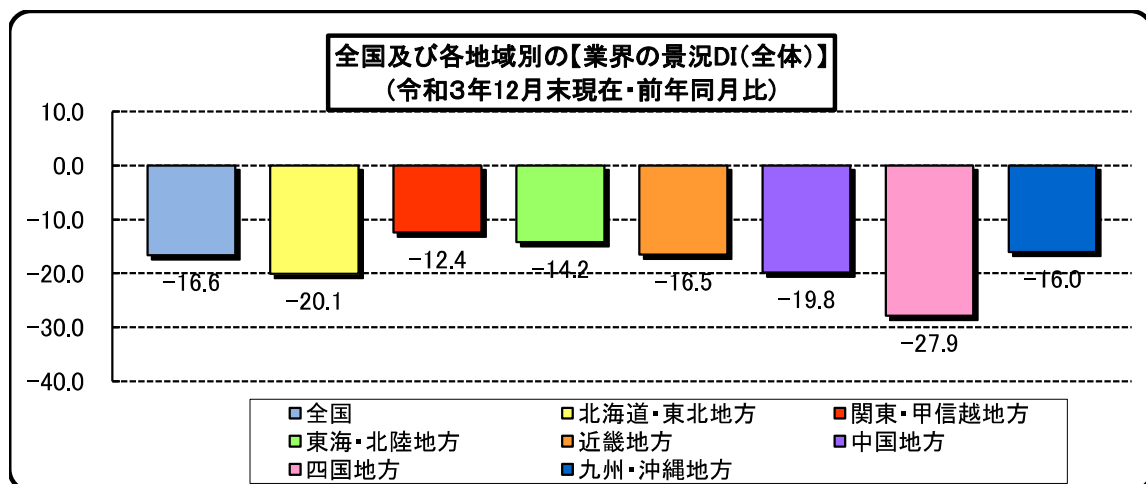
静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、
石川県、福井県

業 種	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
全 体	14.1	57.6	28.3	33.9	42.4	23.7	10.2	13.6	53.6
製造業	18.8	53.0	28.2	38.1	38.7	23.2	14.9	18.2	51.4
非製造業	9.8	61.9	28.4	29.9	45.9	24.2	5.7	9.3	55.7

〔九州・沖縄地方〕

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、
宮崎県、鹿児島県、沖縄県

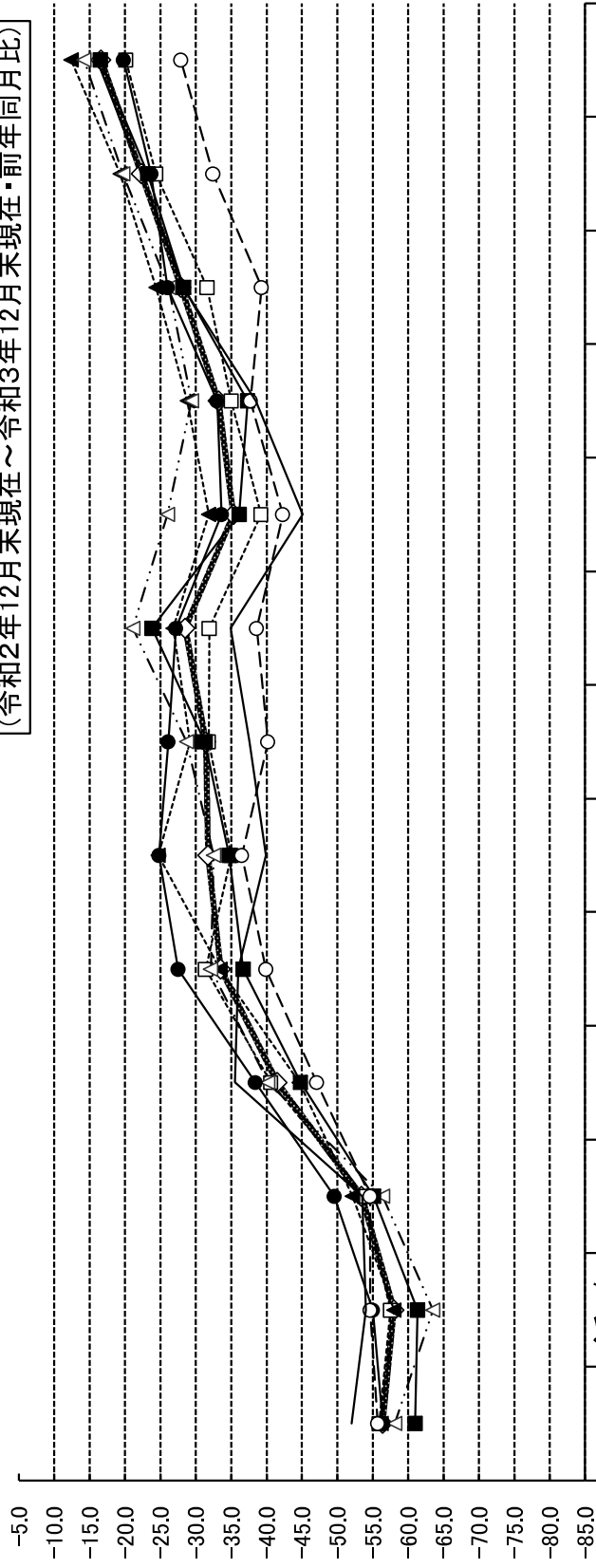
業 種	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
全 体	15.1	53.8	31.1	28.9	37.6	33.5	-4.6	17.0	51.1
製造業	17.0	48.3	34.7	28.6	30.6	40.8	-12.2	17.7	46.3
非製造業	13.9	57.4	28.7	29.1	42.2	28.7	0.4	16.6	54.3



〔北海道・東北地方〕
〔関東・甲信越地方〕
〔東海・北陸地方〕
〔近畿地方〕
〔中国地方〕
〔四国地方〕
〔九州・沖縄地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
徳島県、香川県、愛媛県、高知県
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(令和2年12月末現在～令和3年12月末現在・前年同月比)



	12月末	令和3年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末
系列1	-56.4	-58.0	-53.4	-41.5	-33.5	-31.7	-31.4	-28.5	-35.3	-33.2	-27.9	-22.3	-16.6
系列2	-55.9	-57.5	-53.8	-40.6	-31.4	-35.0	-31.8	-31.9	-39.2	-35.0	-31.6	-24.4	-20.1
系列3	-56.2	-58.0	-52.1	-44.6	-33.4	-24.7	-29.2	-26.8	-31.8	-28.8	-24.4	-19.3	-12.4
系列4	-58.1	-63.5	-56.4	-40.2	-32.1	-32.5	-28.7	-21.1	-26.0	-29.4	-26.2	-19.7	-14.2
系列5	-61.0	-61.3	-55.1	-44.8	-36.7	-34.7	-31.3	-23.8	-36.1	-37.3	-28.3	-23.2	-16.5
系列6	-56.4	-55.0	-49.6	-38.4	-27.5	-24.8	-26.1	-27.2	-33.6	-33.0	-26.0	-23.7	-19.8
系列7	-55.7	-54.6	-54.6	-47.1	-39.9	-36.5	-40.2	-38.6	-42.3	-37.7	-39.3	-32.4	-27.9
系列8	-52.0	-54.0	-53.5	-35.5	-36.0	-39.9	-37.6	-34.9	-45.1	-38.5	-28.2	-22.3	-16.0

〔北海道・東北地方(系列2)〕 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
〔関東・甲信越地方(系列3)〕 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
〔東海・北陸地方(系列4)〕 静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
〔近畿地方(系列5)〕 滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
〔中国地方(系列6)〕 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
〔四国地方(系列7)〕 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
〔九州・沖縄地方(系列8)〕 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※系列1は全国の数値です。

情報連絡員からの報告（要旨）

《製造業》

食料品製造業

1. <青森県 乳製品>
懸念された生乳や乳製品の在庫コントロールが全国規模で展開され、その効果により、生乳廃棄回避に目途が立ちそうな状況までこぎつけることができた。官民一体となった取組に感謝している。
2. <神奈川県 パン>
売上は横這いの組合員が多い。原材料等の値上げが異常なほど大きい。販売価格は増加しつつあるが、収益状況は悪化傾向にある。イベント関連も動き出しているが、集客は弱く利益増に繋がっていない。
3. <新潟県 醤油>
12月の売上に関しては昨対95%。醤油、生揚げ販売は好調だったものの、醤油加工品が落ち込んだことが影響している。原材料の値上りが止まらず、生産の効率化・販売価格への転嫁が課題となっている。
4. <静岡県 パン>
12月はクリスマスケーキ需要があったが、原材料のいちご、生クリーム、小麦粉等が相当な値上りで、価格転嫁できず採算が合わなかった。消費者嗜好もホールケーキがメインではなく以前より変化している。
5. <奈良県 素麺>
原料の小麦粉、綿実油、その他副資材の値上げや人件費の高騰で、来年度の利益率が悪くなると予想される。商談も本格的になっていて小売価格は同じで、量目変更などで値上げの対応を検討している。
6. <鹿児島県 蒲鉾>
お歳暮ギフト、土産品・おせち用蒲鉾等、昨年比売上が伸びている。お歳暮ギフトは、さほどコロナの影響を受けず、例年と変わらない売上だった。土産品は、一昨年（コロナ前）の90%の売上まで回復した。

繊維・同製品製造業

7. <山形県 織物製成人女子・少女服>
呉服、服地ともコロナ禍による売上減少が響き、組合員も依然として雇用調整助成金の活用や生産調整を実施している。呉服の販売会は、販売数が伸び悩み、原料系などの値上げの動きが出てきている。
8. <栃木県 網・レース・繊維粗製品>
変異株の動向を心配していたが、今のところ受注件数、売上は大きな影響を受けていない。先月に引き続き前年度同月対比の売上は改善傾向にある。報道による今後の購買意欲の減退が心配である。
9. <東京都 洋服>
新型コロナウイルスの影響により、ベトナムの縫製工場で稼働が落ち込んでおり、アパレルメーカーが発注先を国内に切り替える動きがある。但し、人手不足により受注ができない組合員がいる。
10. <京都府 染織整理>
12月は新型コロナウイルス感染者数が激減したが、フォーマルをはじめ一般呉服は依然として厳しい状況が続いている。更に原材料の仕入単価の上昇や最低賃金値上げが収益状況に影響している。
11. <兵庫県 繊維・同製品>
生産数量は、12月が前年同月比で3.7%増加、前月比で4.9%減少であった。令和4年の先物（3ヶ月先までの受注数量）状況については、対前年度比10～20%増加している。
12. <鹿児島県 大島紬>
京都で合同イベントを予定しているが、開催可否はコロナの感染状況次第である。オミクロン株の流行により、非常に厳しい見通しである。

木材・木製品製造業

13. <北海道 一般製材>
トドマツ原木は、製品受注が旺盛な為、一部地域を除いて価格が上昇傾向にある。カラマツ原木は、製材受注が旺盛であるが、慢性的な原木不足は解消されていない。今後も不足感は続くと考えられる。
14. <宮城県 木材>
11月の住宅着工数は1,650戸で前月比13%増、前年同月比14%増となり、5カ月連続で前年同月を上回った。年間着工数も、すでに前年を上回っている。原木価格は値上り傾向が続いている。
15. <埼玉県 木材・木製品>
チップ用原木の入荷は前年同月比▲20%と前月同様低調である。製紙会社各社ともチップの在庫量はかなり減っている状況である。

16. **< 富 山 県 一般製材 >**
1～10月までの新設住宅着工戸数（木造）の累計対前年比は、全国が8.0%増に対し、富山県は0.1%減で、全国比」厳しい結果となっている。ロシア材は高値で、中小零細工場では材の確保に苦戦している。
17. **< 香 川 県 木材 >**
コロナ禍によるライフスタイルの変化等で生じたウッドショックの影響が未だ収束せず、木材、資材等の流通が悪く高値が続いており、これを契機に高値が常態化するのではないかと危惧している。
18. **< 鹿 児 島 県 木材・木製品 >**
木材価格は製品、原木ともに値下がり傾向にあるが、昨年同期と比較すると依然として高値である。鹿児島県における10月の住宅着工戸数は昨年同期比約1.7倍で、今年2回目の1,000棟超えとなった。

紙・紙加工品製造業

19. **< 東 京 都 紙加工品 >**
製紙メーカーの生産が回復し、市場が活発になり始めた。但し、来年からは製紙メーカーの値上げやそれを敬遠した買い控え、今後の紙需要の減少などの問題があり、この好況は限定的と思われる。
20. **< 岐 阜 県 紙加工品 >**
前月同様、昨年比売上は増加している。コロナ前と比べ90%回復したとの組合員が多いが、景況感は悪い印象が強い。借入元金の返済開始までに景気が回復しないと不安だ、と心配する組合員も多くなる。
21. **< 京 都 府 紙製容器 >**
半導体不足、輸出コンテナ不足から受注が後倒しになったり延期となる企業が増えた。原紙等の値上げのアナウンスが始まり、今後の値上げ幅やタイミングなどが焦点になるとと思われる。
22. **< 大 阪 府 古紙収集加工 >**
12月も裾物古紙の発生は段ボール古紙を除き低調で、特に新聞・雑誌は対前年同月比で落ち込んだままの状況である。
23. **< 愛 媛 県 機械すき和紙 >**
トイレットペーパーの業務用は▲20%程度と低迷しているが、大手パルプ物のシェアが上昇している。順調に伸びてきていたペーパータオルは、エアタオルの復活等により、全体伸び率が鈍化してきた。
24. **< 高 知 県 機械すき和紙 >**
感染者が減少しイベント等が再開され始めたためか、人流が多くなり各種ノベルティ商品の引き合いがやや回復した12月であった。しかし、1月に入ってから「様子見」の動きがみられる。

印刷

25. **< 栃 木 県 印刷業 >**
コロナ禍が落ち着けば受注は増えるかとみていたが、デジタル化の加速が進み努力はしているが、そこからの収入は少ない。資材料等の上昇傾向も足を引っ張っていると懸念している。
26. **< 富 山 県 印刷 >**
商業印刷は、売上は前年同月比幾分好転しているが、牽引役のパッケージ印刷については、医薬品製造の減産による影響が大きく、減少が見られる。原料値上げが本格化しそうで予断を許さない状況である。
27. **< 静 岡 県 印刷・同関連 >**
コロナ禍により、印刷需要が低迷。前年に引き続き売上低調。資材値上げ、部品交換費用、産廃改修費用等値上げが発生しているが、受注減少傾向で、取引を維持するには、価格転嫁は困難である。
28. **< 三 重 県 印刷 >**
感光材料等の値上げに続き、年明けからはインキ、紙も値上げになる。またコロナ禍以降、これまで以上にペーパーレス化が進んでおり、需要が停滞する中で競争が激しくなり、一層価格転嫁し辛くなる。
29. **< 岡 山 県 出版・印刷 >**
紙媒体の販促は依然少なく売上高は厳しい状況が続いている。また一方で、ガソリンやインクなど印刷資機材の値上げが続いており収益状況も大変厳しくなっている。
30. **< 佐 賀 県 印刷 >**
12月は年末商戦が少し回復し、前月比、前年同月比共に増加した。しかし、第6波を考えると、この状況も長く続かないことも予測される。材料費が高騰しており、印刷価格の早急の見直しが課題である。

化学・ゴム

31. **< 長 野 県 プラスチック製品 >**
11月は先月同様成形品の受注回復により、売上は前年同期を上回る結果となった。一部で成形材料供給遅れの問題もあるが、得意先より代替材料への切替指示等もあり、対策が推し進められている。
32. **< 岐 阜 県 プラスチック >**
売上は電子材料関連が堅調維持のため増加した。自動車関連は戻りつつあり、外食関連も回復の基調だが、変異株の感染拡大が懸念される。採算面は10月、1月に原料値上があり、一層厳しくなっている。

33. < 京 都 府 プラスチック製品 >

設備投資を進めている会社もあるが、業界としては今一歩積極的になれないでいる。引き続き原材料・部品難に頭を痛めている。このままいけば、原材料の値上げが懸念される。

34. < 大 阪 府 石鹼洗剤 >

コロナ禍で衛生関連品の高い水準の需要は依然続いているが、石鹼・ハンドソープ・住居用洗剤など特需が発生した品目は、現在でもその反動は続いている。ただ、洗浄剤全体としてはほぼ前年並みである。

35. < 島 根 県 プラスチック製品 >

製品売上、受注状況として先月比では若干減少しているものの、大枠では引き続き堅調に推移している。各客先の先行き見込みは相変わらず強気の方針ではあるが、春以降は不明な状況である。

36. < 広 島 県 プラスチック製品 >

自動車関連は減産の状況であったが、11月に入り急な増産体制となった。設備操業度が上昇し、人手不足で残業や休日出勤で対応している。但し、原材料等の価格上昇による採算性は悪くなっている。

窯業・土石製品製造業

37. < 山 形 県 コンクリート製品 >

鉄・鋼材、重油関係等、原材料の値上げ要請が始まっており、製造原価に響いてきているため、今後の収益への影響が必至である。雪の影響で製品輸送に係るトラック等の手配が厳しい状況となっている。

38. < 東 京 都 生コンクリート >

都心部の出荷は前年比130%、契約残も高水準であり当面は好調と思われる。セメントをはじめ諸資材価格の上昇が予定されており、4月以降の大幅値上げが決定している。

39. < 滋 賀 県 陶器製品 >

陶器の動きが鈍くなる冬期に入り、変異ウイルスの影響で、観光小売への影響も心配である。大消費地向けの出荷にも陰りが見えはじめている。

40. < 香 川 県 石材加工 >

受注の減少に伴う稼働率低下が長期間続いているため、助成金等の制度を利用しながら雇用継続をしている事業所が多い。先行きの不安や生産性・効率性の低下など業況に悪影響を与えている。

41. < 長 崎 県 生コンクリート >

生コンクリート製造に使用される原材料（セメント、骨材、輸送費等）の値上げ要請が工場に対して行われており、今後、価格転嫁をせざるを得ない状況となっている。

42. < 沖 縄 県 コンクリート製品 >

12月の売上は対前年比20%減となった。今後の出荷増に関わるような目立った大型案件も無く、今期の道路工事関連の公共工事発注量は厳しくなると予測している。

鉄鋼・金属製造業

43. < 青 森 県 鉄鋼 >

工場平均稼働率と手持工事は引き続き横這いだが、地元の中小見積物件が減少傾向にある。鋼材入手難・鋼材価格の高騰は年明け以降も続くともみられ、材料納期の長期化もあり受注判断に苦慮している。

44. < 秋 田 県 鉄鋼 >

鉄を始めとする原材料の値上げに加え、木材・樹脂類などの梱包資材、塗料類、切削油・潤滑油等の油脂類、ガソリン・軽油などの燃料高など、製造に関わる多くの資材が高騰しており、利益を圧迫している。

45. < 石 川 県 鉄素形材 >

建機業界は小型機種で部品調達の遅れにより生産調整があったようだが、大型機種は好調で増産計画が出ている。一方、新電力を利用している組合員から電気料金10%以上の値上げ話が出てきている。

46. < 鳥 取 県 金属加工 >

世界的な鉄不足により、全ての鋼材品種で上昇幅が大きく、需給がひっ迫し、国内価格が高騰している。また、一部品種は極端な品薄状態が続く、価格は高止まり状態で先行き不透明である。

47. < 愛 媛 県 鋳鉄铸件 >

前年同月比生産量113.7%、売上123.6%。今月も生産量、売上ともに前年を上回った。原材料の高騰とともに供給がひっ迫してきており操業に影響を与えている。先行きが不透明なので不安が残る。

48. < 熊 本 県 異業種 >

リサイクル関連業種は売上が増加しているが、製品単価の上昇によるものであり、取引数量は減少している。建設、食品製造、農業・漁業用肥料製造関連の企業は、軒並み売上高が減少している。

一般機器製造業

49. < 北 海 道 金属製品 >

造船ブーム期に迫る発注量で、23年度船台を完売し24年度後半の受注を完了している造船所が多数の状況。24年度納期の船台を完売した造船所もあり、10年以来の高値水準となっている。

50. **< 岩 手 県 一般機械器具 >**
 原材料及び部品等の仕入価格高騰、一部部品等の仕入れに目途が立たない等の要因で、売上に影響が出ており、資金繰り及び収益が厳しくなっている。
51. **< 栃 木 県 一般機械器具 >**
 先月同様、好況を維持できているが、自動車関係は半導体の影響が出てきている。建設関係は、かなり好況になってきたが、人出不足が深刻化していると思われる。
52. **< 福 井 県 機械 >**
 受注は相応にあるものの、鋼材等原材料の高止まりにより収益面が悪化している状況にある。以前から作っている製品は受注額が据置となっており価格転嫁が難しく、作れば作るほど赤字に近づいている。
53. **< 徳 島 県 機械金属 >**
 景況感の持ち直しが見られる一方で、営業活動の停滞、半導体不足や部品資材の長納期化等により、売上高や引合いなど厳しい状況も見られ、依然として先行きの見通しが不透明な環境である。
54. **< 福 岡 県 一般機械器具 >**
 設備操業度は60%で不変、売上は40%減少した。販売価格は材料原価上昇分を値上げ交渉中である。業界の景況は売上高に比例している。

電気機器製造業

55. **< 群 馬 県 電気機械器具 >**
 鋼材の値上りにより収益の悪化がみられる。また、各種材料の供給が不安定で入手困難となっているため、別部品に置き換える代替生産を行うも、代替品までも枯渇している状況である。
56. **< 山 梨 県 電気機械器具 >**
 半導体、工作機械、ロボット製造関係等の受注増で、売上が前年同月比120%となったが、材料等の値上りを価格転嫁できずにいるため先行きに不安を抱えている。
57. **< 静 岡 県 電気機械器具 >**
 東南アジアのロックダウンによる部品調達問題による生産への影響が続いており、生産計画変更が多発している。業務用エアコンの室外機の生産が10日間停止するなど、生産計画が下方修正された。
58. **< 三 重 県 電気機器 >**
 期末近くになり、少し受発注に動きが見られるが、まだまだ悪い状態である。主要資材、副資材等が軒並みの値上げが始まり販売価格に転嫁できないことから、業績の悪化が心配である。
59. **< 京 都 府 電気機器 >**
 受注は増加するも操業負荷対応に苦慮している。人材確保は大きな課題であるが、先行きが不透明で安易に増員ができない事情があり、設計変更、設備・作業の効率化等により生産性の向上を図っている。
60. **< 長 崎 県 電気機器 >**
 依然としてコロナ禍の影響で受注が減少していることから、当面の売上減少は避けられない。このような中で年末年始の大型連休を迎えることになり、先行きが不透明な状況が続いている。

輸送用機器製造業

61. **< 茨 城 県 自動車部品 >**
 半導体の不足が生産活動に影響を及ぼしている。潜在的な需要はあるので、半導体不足が解消すれば生産高は上昇傾向に転ずるものと予想している。
62. **< 静 岡 県 輸送用機械器具 >**
 引き続き半導体不足の影響で生産量の減少と生産計画の頻繁な変更が続いており、原材料価格のアップも重なり経営環境は厳しい状況が続いている。また、変動人員の確保も難しくなっている。
63. **< 三 重 県 輸送機器 >**
 自動車部品の需要は相変わらず変動が大きく、生産計画の調整が一苦労である。助成金を頼りに設備投資をしたものの、操作パネルに使用する電子部品が入手できないため納期までに完成できない状況である。
64. **< 兵 庫 県 輸送用機器 >**
 売上高は前月比6.0%の増収、前年同月比で11.1%の減収である。通期では前年度比▲5.5%で約5億円程度減収となった。次年度の親会社の操業見通しもあまり期待できるような状況ではなく、心配している。
65. **< 山 口 県 鉄道車輛・同部品 >**
 現状は順調に推移している。但し、来年度以降の新車両計画は減少の見通しで、それに伴い受注高も減少が見込まれる。海外受注は世界的なコロナ禍の状況で確かな見通しが立たない状況である。
66. **< 大 分 県 造船 >**
 船舶の受注は好転の兆しが見えてきている。今年は低操業が続くと思われるが、以降は少しずつ工事が好転の方向に進むと思われる。

その他の製造業

67. < 福 島 県 漆 器 >

百貨店等の動きは殆どない状況である。観光客等、地元での売上は積雪の影響もあり月半ばから失速した。ネット通販は、県のEC送料無料支援もあり順調だった。

68. < 東 京 都 ガス圧接 >

稼働率が低下している。今後の景況も悪化が見込まれ、上昇するいい材料が見当たらない。受注単価も下降しており、年末の駆け込み需要も見られない。

69. < 神 奈 川 県 工業中心の複合業種 >

自動車部品関連の注文がストップしている（半導体、物流の混乱、東南アジアからの部品の滞り等が原因と考えられる）。鋼材価格の急騰によって海外企業と価格で負けているため、受注が減少している。

70. < 愛 知 県 工業用模型 >

この会社も受注量が少なくなっているようだ。材料の価格も上がり、困っている所が多い。まだまだ先行き不透明である。

71. < 奈 良 県 毛皮革 >

毛皮加工については、成人式用のストールの注文が一段落し、通常製品の製造を行っているが低調である。鞣し加工については、仕事の確保が難しい状態にあり、経営状況は非常に厳しい。

72. < 香 川 県 漆 器 >

コロナが少し落ち着き、売上も前年よりは戻ってきたが、まだ例年の年末に比べると50～60%くらいの水準である。令和4年も変異株流行の兆しがあり、どうなっていくのか心配である。

《非製造業》

卸売業

73. <北海道 野菜・果実>
12月の当組合買付高は年末年始の重要期に押されて買付額は増加したが、秋口にかけての天候不順の影響で12月期の青果物価格が高騰したため、需要が増えた影響とは言い切れない部分がある。
74. <神奈川県 リサイクル>
古紙市況は、市中回収量の減少が継続しており、特に新聞・雑誌が生産低下の影響も重ね、回収量が減り、問屋在庫も低水準となっている。鉄スクラップ市況は、国内外向けどちらも低調で推移している。
75. <愛知県 水産物>
原材料費の値上げや石油価格高騰の一方で、消費者は安い商品を求めている。外食に消費者が戻りつつあることも影響し、今後は利益が得にくい状況が予想される。
76. <山口県 乾物>
海苔の入庫が遅れていることや、カキ・肉類の入庫が、出庫に対し大きく下回っていることから、倉庫売上が昨年と比べ減少している。海苔・カキ・肉類についてはコロナ影響が出ているものと思われる。
77. <高知県 各種商品>
景気の回復は感じられない。昨年コロナの影響を大きく受けており、売上増加傾向ではあるが、通常と比べると1割以上売上減である。売上減少や売掛金の回収難などの影響が出ている。
78. <佐賀県 陶磁器>
12月は先月比106.37%、前年対比117.99%。コロナ感染の縮小に伴い、飲食サービス関連で広く改善の動きがあったことを受け、組合員に改善の動きが見られた。

小売業

79. <北海道 燃料>
組合員情勢は、12月は原油価格の値下がり、卸価格も下がり小売店の販売価格も改定された模様。収支状況は従来同様、量販店に影響され厳しい利益口銭で推移し、利益は圧縮状態が続いている。
80. <宮城県 鮮魚>
海水の温暖化が続き、魚が獲れない状況が続いている北海道で赤潮が発生し、秋サケ、昆布、ホッキ貝等多数の海産物が死滅した。売る魚が無く、価格も高く困惑している。
81. <千葉県 中古車仕入・販売>
売れる小売用中古自動車の仕入に苦戦している。新車の納期が長期化している事が主な要因である。新車ディーラーの生産回復を願うばかりである。また、中古市場は記録的な高値がついている。
82. <福井県 菓子>
感染者数が落ち着きを見せていたため、来店者数が増え、クリスマス・年末年始は予約や営業に追われる組合員が多かった。昨年と比べ自粛ムードもなくなり、客足が伸び、売上も回復基調となっている。
83. <三重県 電器>
12月の販売も大変苦戦した。売上については、単月で前年から約1割以上落とした。4～12月の累計でも同じような状況である。特に主力商品のエアコンと4K8Kテレビの販売の苦戦が続いている。
84. <大分県 カード会>
昨年に続き、年末の帰省客がコロナの影響により見込めず、売上、利益が低迷している。このままでは、脱会者の歯止めがきかない。

商店街

85. <秋田県 商店街>
買い回り商品の取り扱い店舗が殆どだが、年末商戦も予算に届かない個店が多かった。飲食店は警戒レベルが下がって以来の繁忙期を迎えたが、状況の好転は見られなかった。
86. <新潟県 商店街>
飲食業では忘年会などの客数が昨年より多くなったが、物販店では客数増にはならなかった。但し、出張や帰省など人の動きが出てきているので年明けからは期待している。
87. <長野県 商店街>
昨年対比、年末の客足は少し上向き傾向になってきたように思われる。飲食業でも、大規模宴会はなくても少しずつ忘年会を行う人達も出てきた状況のようだ。ここにきて飲食の開店も2～3店舗あった。
88. <岐阜県 商店街>
12月に入り、日本在住の外国人観光客も見られるようになってきた。秋口以降、修学旅行再開等による観光への波及効果等もあり、少し明るさが見えてきたが、商店街そのものの復活までには至っていない。

89. <京 都 府 商店街 >
12月に入り感染者も次第に減ってきたため、町の人出はコロナ禍以前と変わらないくらいに増えてきた。しかし、繁盛しているのは飲食店で、物品販売店に関しては扱う品物によってかなり差があるようだ。
90. <宮 崎 県 商店街 >
コロナ発生前の状況になりつつあるが、急激な客足の増加に各店舗追いつかない状況が見受けられる。また、店舗の状況にばらつきがあり、一概に回復したとは言えない。原材料の高騰と不足影響が大きい。

サービス業

91. <福 島 県 一般廃棄物処理清掃 >
企業が行っている浄化槽の保守点検及び清掃について、長期的には人口減少による業務量の減少が懸念される。短期的には、浄化槽設置数に大きな変化が無いため一定している。
92. <群 馬 県 旅館、ホテル >
忘年会は殆ど開催されなかったものの、個人客が堅調であり売上高は増加した。一方、人手不足状態であるも感染再拡大を懸念して増員をためらう旅館もあり、従業員への負担が高まることを危惧している。
93. <山 梨 県 廃棄物処理 >
寒波によりパッカー車（機械式のゴミ収集車）の故障が増えたが、新車の納期が見通せず、納車までの車両の整備費が増加し収益を圧迫。やむを得ず中古車を購入する組合員が目立った。
94. <岐 阜 県 広告美術 >
12月に入り先月よりもコロナ禍の落ち着きがあり、昨年とは違い特にイベント関係の動きが良くなり、受注案件が増えている。また、一般の看板関係は微増であるが多少の上向き感がある。
95. <山 口 県 普通洗濯 >
12月売上も前年を上回った。一年を通してコロナ禍から大きく回復した組合員もあるが、昨年よりも伸び悩み廃業していく他の同業者も多い。この一年で業界の二極化がさらに進んだことを実感する。
96. <佐 賀 県 美容 >
全国的に感染者数が減少しており、県内でも感染者ゼロの日が続いたため、客足も以前に戻りつつあるように思えるが、客数の減少を取り戻している店とそうでない店との差が出ているとも思われる。

建設業

97. <宮 城 県 建設 >
復旧・復興事業も収束を迎え、令和3年度における県内建設投資額が極端に減少していることから、各企業における受注状況も大変厳しい環境となっており、競争の激化にも繋がっている。
98. <茨 城 県 型枠工事 >
12月の景況は前年と変化がない。土木や建築の大型物件が発注され、さらに新年度の物件も順調に依頼されている。ただし、ウッドショックによる木材の高騰と品不足が深刻である。
99. <神 奈 川 県 管工事 >
管工事に係る機材の売上は増加傾向で回復の兆しも見えるが、景況は低調である。一方、公共工事では、施工時期の標準化に向けた取組みとして責務負担行為による発注が始まるので、期待したい。
100. <和 歌 山 県 一般土木建築工事 >
県工事12月受注額は前年同月比50%減だが、前年末比（4月～12月）では45%増となっている。一方で、引き続き技術者・ガードマンの不足が続いている。
101. <広 島 県 工事業 >
カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、12月は前月比6.1%減少、前年同月比10.7%減少、前年累計比も30.2%減少と引き続き厳しい状況が続いている。敷物の落ち込みが特に大きい。
102. <宮 崎 県 管工事 >
新年度から、管材等、資材の値上げ要請が多くきている。値上げされれば、特に民間工事において工事費への転嫁を心配している。

運輸業

103. <青 森 県 一般貨物自動車 >
輸送の主力である3年産りんごの収穫量が前年比15～20%減で、リンゴの価格に大きく影響している。価格が高いことに加え時期的に贈答品に移行していることから、一般の輸送品としては動きが鈍い。
104. <群 馬 県 一般貨物自動車 >
燃料価格は3か月ぶりに数円の値下げとなるも、前年対比では約1.3倍と高騰している。また、依然として尿素水の供給不足状況にあり、確保への対応及び価格面での不安が続く。
105. <東 京 都 貨物自動車 >
高速道路通行料の請求は前年同月比で0.7%の減少とほぼ横這いとなった。但し、燃料の共同購買事業は前年同月比で販売数量が9%増加しており、高速道路の利用を敬遠している面もある。

106. < 石 川 県 一般貨物自動車 >

輸送需要は対前年比で1.08で若干上昇しているが、上昇率は5月をピークに鈍化している。燃料価格は上昇が続いており、昨年同月比で約41%増と高値で推移している。売上原価への影響が懸念される。

107. < 熊 本 県 沿海海運 >

12月は荷動きが激しく好調であった。用船料も昨年より上昇しており、コロナ禍前の8割程度までは回復してきている。

108. < 鹿 児 島 県 運輸 >

コロナ影響は昨年ほどではなく、例年並みの物量であった。長距離運行は備車確保が難しい状況になっている。燃料価格は高止まりしていることから、一部では燃料サーチャージをお願いしている。

その他の非製造業

109. < 宮 城 県 不動産 >

前月同様、3月入居の学生向け賃貸マンションの引き合いが多かった。また、ファミリー向け新築賃貸マンションについても、申込みが堅調である。

110. < 千 葉 県 輸出入 >

成田空港の旅客数は、前年比131%で、先月よりやや改善しているが依然として厳しい状況が続いている。変異株の影響による外国人客の入国規制を受け、今後もより一層厳しくなるものと考えられる。

111. < 新 潟 県 砂利採取 >

主力の生コン業者向けの骨材出荷量が低調のため、売上が大きく減少している。

112. < 山 梨 県 老人福祉・介護 >

コロナ影響により施設から在宅への介護サービスに移行した新規利用者の満足度が上昇したことに加え、利用者の高齢化による利用回数の増加から、前年同月比、売上が14%増加した。

113. < 岡 山 県 信用組合 >

12月は概ね飲食店は70%近く回復しているが、感染状況にもよることから、継続した支援が必要である。アフターコロナに向けた支援も継続的に行っており、組合員に本業支援、人材支援を手厚く行っていく。

114. < 福 岡 県 貸金業等 >

本業の質取引は増加傾向だが、買取に関しては、高級時計・ブランド品を中心に中古品が中国に流出し、残りが高値取引する国内買取専門業者へ流れる状況にあり、質屋は壊滅状態に陥っている。